

今後の主な予定

成年後見制度講座のご案内

2016年2月24日(水)10時から北区障害者地域自立生活支援室主催の成年後見制度講座を開催予定です。講師にはきょうだい後見人をなさっている方をお招きし、障害のある我が子のために親は何をしておくべきか、お話を伺いたいと思います。ご興味のある方はぜひお越しください！

※詳細は北区障害者地域自立生活支援室発行の支援室だより12月号にてご案内いたします。



バザー用品提供のお願い

ピアネット北では、今後定期的に地域のバザーやフリーマーケット等に参加していこうと考えています。

そこで、皆様のご自宅でご不要な物品のご提供をお願いしたいと思います。お手数ですが下記の住所までお持ちいただくか、ご郵送ください。品物は随時受け付けております。

ただし、以下の物はご遠慮させていただきます。

- ・汚れ、破損のある物
- ・60センチを超える大きな物
- ・電化製品

バザーでの売り上げは、バリアフリー旅行のバス代、あこの会・グループホームやじろべえの備品購入などに充てさせていただきます。

皆様のご協力よろしくお願い致します。

【送付先】療育相談事業あこの会

〒114-0032 北区中十条1-4-7インクリースビル6階



入会のご案内とご寄付のお願い

ピアネット北では、一緒に活動をしてくださる正会員、活動の趣旨に賛同して資金面の援助をしてくださる賛助会員の方を募集しています。入会ご希望の方は、右記口座にお振込みいただくかピアネット北事務局までお問い合わせ下さい。

正会員 年会費 10,000円

賛助会員 3口より(1口1,000円)

■ 振り込み先

郵便口座：
00100-5-296049

口座名称：
特定非営利活動法人 ピアネット北

■ お問い合わせ

TEL&FAX：03-3905-7226



ピアネット北 通信

2015(平成27)年12月発行

第22号

○ 絵画工房「たゆたう」

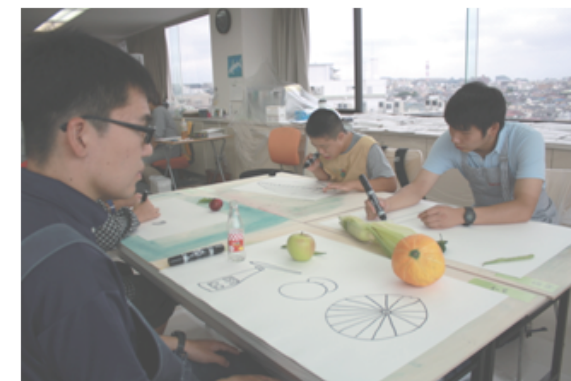
絵画工房「たゆたう」は、障害のある方の『想像力と創作力を最大限に引き出す』『ひとりひとりの感性や個性を表現豊かに育てる』を理念とし、今年の8月にスタートしました。

現在、39名のメンバーがA(1.2.3)、B(1.2)の5コースに分かれ、月1回(日曜日)創作活動にとりこんでいます。大胆な構図の人、とうもろこしの粒を1粒毎に色分けしている人、カラフルな色づかい

をする人等、見ていてとても楽しく、大胆な発想に驚かされています。

スタッフは講師1名、アシスタント1名、ボランティア2名の4名体制です。事前準備、画材の買出し等、慣れない作業で最初は大変でしたが、スタッフのチームワークで何とか乗り越えています。

今後は、障害のある方の作品を社会に伝えるために、公募展や作品展の出品サポート、絵画工房「たゆたう」の展覧会も開催したいと考えています。



事務局

〒114-0003 北区豊島5-5-5-612
TEL&FAX：03-3913-9308

北区障害者地域自立生活支援室

〒114-0032 北区中十条1-2-18
TEL&FAX：03-3905-7226

☞ URL：http://www.peernet.or.jp/

療育相談事業 あこの会

〒114-0032 北区中十条1-4-7インクリースビル6階
TEL&FAX：03-3900-6848

重度身体障害者グループホーム やじろべえ

〒115-0052 北区赤羽北1-7-23
TEL&FAX：03-6657-9077

✉ E-mail：peernet@ma.kitanet.ne.jp

○ 療育相談事業「あこの会」

8月29日(土)に「懇親会」を行ないました。「あこの会」には、発達につまづきを持つ子どもたちが約40名通ってきていますが、違う曜日の方とは、ふだんなかなかお会いする機会がありません。懇親会では、ゲームを通して、子ども同士はもちろん他の保護者やきょうだい、ボランティアの方とも親睦を深めることができればと思い、毎年企画しています。今回は14家族が参加しました。毎年2月に行なっていた懇親会ですが、今回は初めて夏休みに開催しました。都立北特別支援学校のご厚意で、体育館をお借りし、ゲーム大会をしました。広い体育館で、みんなで思いきり体を動かして、暑い熱〜い夏の懇親会になりました！

今年の懇親会では、大玉転がしや風船はこび、借り物競争、なかあてゲームなどを行ないました。風船はこびでは、風船を割ることがこわくて尻込みしている子もいましたが、チームメイトの応援を受けながら何度もチャレンジしました。自分で割ることができて、満足そうな笑顔が印象に残っています。参加した方からも「久しぶりに体を動か



して体が痛くなりましたが、子どもと一緒にたくさん笑って楽しい時間を過ごすことができました」「うちの子どもは以前だとゲームを楽しめなかったのに、今回はとても楽しそうだったのが印象的でした」など、嬉しい感想がありました。

今年も、ゲーム種目の企画からボランティアの皆さんにアイデアを出してもらい、当日も保護者とともに手伝ってもらい、みんなで懇親会を作り上げました。とくに今回は、社会人になったあこの会の卒業生もボランティアとしてデビューしました。子どもたちの成長を楽しみに、来年も保護者、ボランティア、スタッフみんなで子どもたちを支える懇親会にしたいと思います。

○ 北区障害者地域自立生活支援室

北区障害者地域自立生活支援室では、日常の相談支援の他にも、定期的に講座や自立生活プログラムを実施しています。

●ハンドメイド教室

愛の手帳をお持ちの方を対象として、手芸や簡単な料理を行っています。3回を1セットとして、年間4回の開催です。手芸では、皆さん工夫を凝らして、自分だけの作品をつくりあげていました。料理は、お好み焼きやシュウマイ、炒飯に挑戦。皆さんで協力して作ったランチはとてもおいしかったです。



●ヨガ講座

4回を1セットとして、前後期2回のヨガ講座を実施しました。前期は齊藤ちひろ先生、後期は松丸史先生をお迎えして、基本的なヨガのポーズを教えてくださいました。

マットを使った動きでは、リラックスしてうとうとしてしまうことも。ヨガの後は、皆さん、すっきりした表情をされていました。



○ バリアフリー旅行促進事業

11月14日(土)、15日(日)の2日間、総勢20名で那須にバリアフリー旅行に行ってきました。グループホーム「やじろべえ」の利用者の方や、「あこの会」の子どもたちも参加しました。

1日目は、9時に東京都障害者総合スポーツセンターを出発して、リフト付き観光バスで最初の目的地、「茨城ヤクルト工場」へ。ヤクルト工場では、ヤクルト7万本分の巨大なタンクなど工場ラインの設備に、みなさん興味津々。もちろん試飲もすっかり楽しみました。そのあと、昼ごはんを那須森のビール園でいただきました。種類豊富なバイキングでは、料理とデザートをおかわりに何往復もする参加者の姿も！

おなかいっぱいバスに揺られるうちに、宿泊先のしらかば荘に到着しました。外はあいにくの小雨だったので、多目的ホールで卓球やバドミントンをして汗を流したり、ゆっくりお風呂に入ったりと、思い思いに時間を過ごしました。しらかば荘には無料で利用できる家族風呂がいくつもあり、車いすの方も時間を気にせずお風呂に入れました。豪華な夕食を楽しんだあとは、みんなが朝から心待ちにしていたカラオケ大会です。懐メロから洋楽まで、自慢の歌声を披露しあいました。とても盛り上がり、あっという間の2時間でした。

2日目は、宇都宮にある道の駅、「ろまんちっく村」へ。紅葉で木々が色づいた森を散策したり、新鮮な野菜をお土産に買ったりと、それぞれ自由時間を満喫しました。2日目も雨の予報でしたが、このころから少しずつ青空が顔を出すようになり、天気が快復してきました。

午後からはみんなでパン作り体験をしました。こねすぎると生地が固くなってしまうので、でき

るだけ手早く作るのがコツだそうです。先生が作っているのを見ると簡単そうでしたが、いざやってみると柔らかい生地を形にするのはなかなか難しい作業でした。なかには手際よく作り上げる方もいて驚きました。窯に入れて待つこと3分。焼きたてのパンは、形はいびつでも、とても香ばしくおいしかったです。

帰りのバスは渋滞に巻き込まれることもなく、予定より早く5時に障害者スポーツセンターに戻ってくることができました。帰りのバスでは、パン作り体験やカラオケなど、旅行で楽しかったことが話題になりました。初参加の方からも「来年のバリアフリー旅行にもぜひ参加したいです」と感想をいただきました。また、ほかの参加者の方からも、伊豆、熱海、軽井沢など、来年のバリアフリー旅行で行きたい場所がいくつもあがりました。来年は一体どこになるのでしょうか。

もりだくさんの2日間、みなさんととても楽しい時間を過ごせました。今回のバリアフリー旅行にご参加いただいたみなさま、ありがとうございました！



○ 重度身体障害者グループホーム「やじろべえ」

どんなに重い障害があっても地域のグループホームで暮らすことができるということを、やじろべえの実践を通して、より多くの人に知ってもらいたいという思いから、やじろべえの紹介DVDを作成することになりました。

今回は、丸紅基金様から助成金をいただくことができました。

年明けから撮影が始まる予定で、どんなDVDができるのか楽しみです。